

福島ロータリークラブ会報 vol. 36

2026.6.4 Thu



よいことのために
手を取りあおう

【例会場】福島市野田町1丁目10-41 エルティ
【例会日】木曜日 12:30
【事務所】福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F
【TEL】024-536-1010 【FAX】024-536-1011
【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com
■ <https://www.f-rotary.com/>



【ホームページ】



【Facebook】

会長あいさつ



2025-26年度会長 佐藤美奈子

今日は福島学院大学ロータリークラブ顧問 茨木隣様、ロータリークラブ前部長 山口聖司様、福島東稜高校インターアクトクラブ副顧問 上野浩子様、インターアクトクラブ部長 吉橋青輝様並びに米山記念奨学生 ホウ・ウリグムラさんをお迎えしております。会員一同皆様のご来訪を歓迎いたしますとともに、今年度スポGOMIや地区のインターアクト国際理解研修会、地区大会、全国インターアクトクラブでの発表、全国各地のロータリークラブ大会への出席など、様々なロータリー行事に参加していただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、米山奨学生のホウさんには学業に専念していただきながらも、今後、福島ロータリークラブの会員の皆様と親睦を深め、クラブ行事や地区の研修行事に積極的に参加いただきますようお願いいたします。昨年秋に、福島ロータリークラブの推薦を受けてハーバード大学に留学された吉川さんからも今週、アメリカのパオロ・アルト大学ロータリークラブの例会に出席され、パナー交換を行い、充実した研究活動を行うことができている、皆様によりしくお伝えくださいと連絡がありました。

先程米山奨学生ホウさんへの寄付金贈呈をいたしました。財団の支援を受けて海外に留学している日本の学生や米山記念奨学生は皆様の寄付で勉学に励むことができます。今月は後3回例会がございます。千円から結構ですので、希望ある未来を担う学生が夢に向かって学ぶことができる環境づくりのため皆様の浄財のご寄付のご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、今週私の手元にインターアクトクラブ国際理解研修の報告書が届きました。フランス出身のパスカルさんによる講演があり、「世界で起きている戦争や人種差別などは決して他人事ではなく、自ら関心を持って調べることが大切である」また「育った環境、国によって、それぞれの国の方々の人格も様々で、フランス人はおおらかだが、イギリス人は比較的日本人に近く時間厳守ですべてに理由を求める、スペイン人は感情を大切に、相手の気持ちを理解することを大切にしていること」などとお話しされたそうです。私はその報告書を読みながら、自分自身の海外生活を思い出しました。

私が海外で生活してまず驚いたのは、時間に対する感覚の違いでした。たいていのヨーロッパの方やアジアの暖かい国の出身の方は、ホームパーティーや待ち合わせに、大体40分～1時間遅れるのが普通で、私の経験から、時間通りに来るのは日本人と韓国人くらいでした。ホームパーティーに時間通りに行くと、何も準備が整っていないことも多々ありましたし、待ち合わせ時間に時間通りに行くと30分も待つということはざらで、そのうち私自身も30～40分遅れて待ち合わせ時間に行くことが普通になりました。逆に、ホームパーティーなどには遅れていくことこそが、ヨーロッパのマナーで、イタリア人やスペイン人に至っては1時間半から2時間遅れで到着することもよくありました。マレーシアでは、エアコンの修理などを頼むと2時間遅れは当たり前、半日待つことも多く、それでもその日に来るだけ良い方で、そのうち私も慣れて気にもなくなりました。多くの国では、時間通りに電車が来るのは珍しく、日本に来た海外の旅行者は皆一様に驚きます。それぞれの国によって、時間の常識はこんなにも違うのだと実感しました。私の感覚では暖かい国の方が時間があまり気にせず、何事にも寛容で、ストレスがあまりない生活を送っている印象を持っています。

また、文化や習慣の違いということでは、マレーシアでは、子どもの頭をなでてはいけません。頭は体の中でも神聖な場所とされており、子どもの成長を妨げるとされているため、日本では愛情表現として自然な行為ですが、場所が変われば失礼になることもあります。

欧米では、小さな子どもでも自然にドアを押さえて次の人を待つ

本日のプログラム

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー参加報告

- 社会・国際奉仕委員会 鈴木 朋恵 会員
- 青少年奉仕委員会 岡田 新也 会員
- ロータリー財団委員会 渡辺 健寿 会員

例会次第

国歌斉唱

ロータリー・ソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菅野 晋 会員

四つのテスト唱和

職業奉仕小委員会 八巻 一 委員

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

菅野裕一 副SAA

- 米山記念奨学生 ホウ ウリグムラさん
- 福島学院大学 RAC 顧問 茨木 隣 様
- 福島学院大学 RAC 前部長 山口聖司 様
- 福島東稜高校 IAC 副顧問 上野浩子 様
- 福島東稜高校 IAC 部長 吉橋青輝 様

米山記念奨学金 6月分支給

米山記念奨学生 ホウ ウリグムラさん

6月誕生祝

優良ロータリーアクター／優良インターアクター表彰

代表 福島学院大学 RAC 前部長 山口聖司 様

代表 福島東稜高校 IAC 部長 吉橋青輝 様

ロータリー財団 認証状・ピンバッジ伝達

ポリオプラス・ソサエティ

佐藤美奈子 会長・菅野裕一 会員

各委員会報告

例会小委員会 ニコニコBOX 担当

佐藤久典 委員



菅野 晋 会員



八巻 一 委員



菅野裕一 副SAA



ホウウリグムラさん



佐藤久典 委員

ています。親が礼儀作法を厳しく教えます。夜のパーティーに子どもをつれていくことは禁止でしたし、当たり前でした。赤ちゃんの時から子ども達は別の部屋で寝かせていました。そうしたことで、彼らは自立しているのだと思います。スーパーのレジでも知らない人同士が気軽に会話をし「ありがとう」を言って別れ、散歩中でも「こんにちは」と声を掛け合います。そのような光景を見るたびに、人とのつながりを大切にする文化を感じました。

様々な国の方々と接してきた私自身も、文化の違いを十分理解しておらず一度だけ失敗した経験があります。20代のころエジプト展開催の準備をしていた際、エジプト大使館の参事官の方に気兼ねな気持ちで「そこにあるものを運ぶのを手伝って」とお願いしたことがありました。ところが、その一言が、外交官で目上の方に20代の女性が、お手伝いをお願いするという、相手の文化では失礼にあたる行動をしてしまったことで、大変叱られました。当時はショックでしたが、今振り返ると、その国の歴史や価値観を理解することの大切さを教えていただいた貴重な経験だったと思っています。

インターアクトクラブ、ロータリークラブの皆さんには、特に世界で起きていることに関心を持ち、多様な価値観を学びながら、広い視野を持った国際人へと成長していただきたいと思っています。パスカルさんの講演を聞いた報告書には、「フランス語を初めて聞いた」「世界には様々な考え方があった」という感想が数多く書かれていました。今日は、国際理解について私自身の経験を交えながらお話しさせていただきました。本日もどうぞよろしくお願いたします。

クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 参加報告



■ 社会・国際奉仕委員会

社会・国際奉仕委員会のご報告を申し上げます。

今回の委員会では、「連携と連帯で、持続可能なインパクトを生み出そう」というテーマから、地域とのつながりを大切に、継続的にインパクトのある活動をしていくことが大切である、というお話がありました。

パストガバナーからは「地域における奉仕活動をしてほしい」、ガバナー補佐からは「地域との連携が大事である」と述べられました。

奉仕活動は、ただ何かを実施するだけではなく、地域の課題や声にしっかり耳を傾け、その地域に本当に必要とされる形で進めていくことが重要であると、感じました。

さらに、今後の方向性として、他クラブとの連携にも積極的に取り組みたいという話があり、一つのクラブだけでは難しいことでも、複数のクラブが力を合わせることで、より大きな成果につながる可能性があります。

次に、2025-26年度に実施した奉仕活動に関するアンケート調査の報告があり、アンケート結果については、より深く分析し今後の活動役立てていきたいとの事でした。

クラブの奉仕活動の具体的な事例として、郡山東RCと福島南RCの奉仕活動も紹介されました。

郡山東RCでは、五百瀬への野鳥の看板設置、大安場古墳への記念品の贈呈、民話のCD作成と市への86枚の寄贈、高齢者施設での訪問講演、さらに社会福祉協議会への車いす10台の寄贈や紙芝居の寄贈など、地域に根差した多様な活動が継続的に行われているとのことでした。

また、福島南RCの事例としては、セブRCと連携し、グローバル補助金を活用した職業訓練コースの設立が紹介されました。災害時には30万円を送金し、5ガロンの給水容器150本を寄贈したとのことで、必要な時に必要な支援を届けるという事が大切だと感じました。グローバル補助金は複数のクラブで実施することも可能とのことでした。

奉仕の成果をきちんと測定することも重要であり、活動を行ったという事実だけで満足するのではなく、その結果としてどのような変化が生まれたのか、どのような効果があったのかを見える形にしていくことが大切だということです。たとえば、スポGOMIの活動であれば、ご

みの量が減った、地域の美化意識が高まったといった具体的な変化が、ひとつのインパクトになります。これからの奉仕活動は、実施することそのものに加えて、その効果を意識しながら取り組むことがますます大切になると感じました。

以上、社会・国際奉仕委員会のご報告となります。ありがとうございました。



■ 青少年奉仕委員会

CLLS青少年奉仕委員会、ロータリーアクト委員会、学友委員会の参加報告をさせていただきます。

岡田新也 会員
地区では青少年奉仕委員会の中にインターアクト委員会、RYLA委員会、青少年交換委員会の小委員会があり、ロータリーアクト委員会、学友委員会が別にございます。

セッションIでは、はじめに志賀利彦PG、渡邊公平PG、右近八郎PG各担当相談役からご挨拶をいただき、その後、増子青少年奉仕委員長よりロータリーの青少年奉仕とは「次世代のリーダーを育てること」であり、だからこそ中高生のリーダーを育てる「インターアクト委員会」、青少年の指導者養成プログラムを実施する「RYLA委員会」、留学を通して、異文化を学び国際理解を促す「青少年交換委員会」があるとお話いただきました。

次に吉田インターアクト委員長からは、IACは支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されるのが前提で、提唱クラブとしてIACとの連絡を密にとってサポートをしていくことが大事であること、これはRACにも同じことが言えると思います。またインターアクターを卓話に呼んでいただきたいとお話をいただきました。

次に菅野RYLA委員長から、次年度のRYLA研修会についての話があり、来年の3月27～28日に華の湯で開催する予定ですが、参加者が減ってきており今年度は24名の参加とのことでした。当クラブからは、毎年2名ほど参加していただいているのですが、参加していないクラブもあり、各クラブからの参加をお願いしたいとお話でした。

セッションIIでは、はじめに中村青少年交換委員長から青少年交換は単なる語学留学ではなく、海外での様々

な体験を通して国際理解を深めロータリーの「小さな親善大使」として世界平和に寄与していくことを主眼としていること。

また、毎年4名の交換を目標としており、そのために次年度は会員にチラシを配布するだけでなく、高校や公共施設にチラシ、ポスターを配布し、掲示していただき、IACへの広報強化も行っていくとのことです。

次に渡辺ローターアクト委員長より次年度の活動として、スポンサークラブとの連携・対話のための「情報交換交流会」の開催、各地でのイベントに出展し、会員増強、資金調達も含めた、地域での社会奉仕活動の推進、そしてRCと同じくRACも会員増強の推進ということで、青少年が集う場所でのPR活動、ロータリークラブ内での連携啓蒙活動を行い、学生ローターアクトから社会人ローターアクトの流れも作りたいとお話でした。

最後に、板橋学友委員長からは、各委員会と連携し学友リストの作成、及びネットワークの構築を行うこと。学友とはロータリーの青少年プログラムに参加経験のある方を指します。活動としては、「第2回ロータリーファミリー in 福島」の開催、これは今年度から始まった会で、学友の皆さんがそれぞれの活動または体験を発表し意見交換を行う会です。後はRYLA委員会とローターアクト委員会と協力しアフターRYLAを開催、これらの活動を通じて青少年プログラム参加者の活動を一過性にせず、持続可能な活動の場を提供し支援していくとのことでした。私からの報告は以上です。

ご清聴ありがとうございました。



渡辺健寿 会員

ロータリー財団委員会

担当相談役 鈴木邦典PG(白河RC)のあいさつのあと、同じく担当相談役 平井義郎PG(福島中央RC)から、ロータリー財団の歴史、現況等について詳細な解説を拝聴しました。

地区ロータリー財団委員会 林克重委員長(福島南RC)より金田ガバナー年度の地区活動方針について報告がありました。

①世界ポリオデーへのクラブの参加促進

・世界ポリオデーは10月24日とされています。

②補助金プログラムへの理解促進

③地区補助金、グローバル補助金の活用促進

④クラブ財団活動の支援

⑤PHS100名・PPS150名目標

⑥寄付の推進

・年次基金 150ドル/1人

・ポリオプラス基金 30ドル/1人

・ベネファクター 当クラブから1名

・ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオプラス・ソサエティの加入促進

・ロータリーカードへの加入推奨

地区補助金活用について協議の中で、当クラブが主催するスポGOMI大会は、地区補助金活用の参考事例として紹介されました。2026年9月27日予定の第6回スポGOMI大会の事業については地区補助金申請済です。

地区ロータリー財団委員会には、当クラブから相良元章委員、本多修一郎委員が出向されており、クラブとしても心強いことです。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



■福島東稜高校インターアクトクラブ
副顧問 上野浩子様
部長 吉橋青輝様



■米山記念奨学生
ホウウリグムラさん



■福島学院大学
ローターアクトクラブ
顧問 茨木瞬様
前部長 山口聖司様

米山記念奨学金6月分支給



■米山記念奨学生
ホウウリグムラさん

優良ローターアクター／優良インターアクター表彰



■福島学院大学
ローターアクトクラブ
前部長 山口聖司様



■福島東稜高校
インターアクトクラブ
部長 吉橋青輝様

6月誕生お祝い | おめでとうございます



- | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ■加藤 義朋 会員
昭和11年6月9日 | ■加納 武志 会員
昭和34年6月6日 | ■安齋 圭一 会員
昭和38年6月25日 |
| ■廣山 祐治 会員
昭和41年6月2日 | ■山野辺 宏 会員
昭和41年6月5日 | ■高橋 淳一 会員
昭和44年6月28日 |
| ■岩見 孝之 会員
昭和47年6月17日 | ■本田 裕一 会員
昭和48年6月23日 | ■藤島 憲明 会員
昭和49年6月4日 |
| ■本多修一朗 会員
昭和51年6月27日 | ■奥 一正 会員
昭和52年6月14日 | ■増井 裕康 会員
昭和56年6月23日 |
| ■佐藤 有 会員
昭和58年6月17日 | | |

ロータリー財団 認証状・ピンバッジ伝達



- ポリオプラス・ソサエティ
佐藤美奈子 会長
管野裕一 会員

幹事報告

- 本日17時30分より新旧理事会を開催いたします。新年度役員理事の皆さまは17時30分より、また今年度役員理事の皆さまは18時30分より開始となりますので、よろしくお願いいたします。
- 6/5(金)東京交歓会参加者の皆様へ、エクスカーション昼食から参加の皆様は11時30分、東京ミッドタウン八重洲3F「ラテラツア・サパティエーニ八重洲」に直接ご集合ください。また、18時より開催の東京交歓会は東京オペラシティ54階「オペラハウス東京」にて開催となります。ご案内しおりを送付しておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。
- 6/10(水)国際奉仕小委員会を開催いたします。委員の皆さまはよろしくお願いいたします。
- 6月ロータリーレートは1ドル159円となりますので、お知らせいたします。



佐藤孝充 幹事

ニコニコBOX報告

本日の投入額 38件 報告 佐藤久典 委員

メッセージ会員

- 奥 一正 会員
お誕生日のお祝いをしていただきありがとうございます。49才になりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- 小原 敏 会員
本日は東稜高校インターアクトクラブ員へ映えある優良インターアクト認定書を授与いただきありがとうございます。
- 加藤 義朋 会員
今日から6日で、90才になります。本日、皆様に誕生祝いをしていただき、ありがとうございます。
- 小林 仁一 会員
早くイラン戦争が終わりますように!

佐藤 美奈子 会長

福島学院大学ロータリーアクトクラブ顧問 茨木瞬様、前部長 山口聖司様、福島東稜高校インターアクトクラブ副顧問 上野浩子様、部長 吉橋青輝様のご来訪心より歓迎申し上げます。

他に

安藤正明/安部 守/内池 浩/大橋真孝/岡田新也/尾崎和典/小原孝嗣/加納武志/菅野 晋/管野裕一/児玉健夫/坂井亮夫/佐藤久典/佐藤英典/佐藤充孝/塩塚圭輔/菅沼 裕/鈴木朋恵/丹治正博/仲尾雅至/中川宏生/沼田 望/藤井 守/本多修一朗/増井博康/松原久武/村上守人/村山由美子/森岡幸江/森下謙太郎/八巻恵一/横山 淳/渡辺泰子

第48回東京交歓会・エクスカーション

6/5(金)18時より「オペラハウス東京」にて東京交歓会が開催されました。

それに先立ち、エクスカーションとして、NTT e-City Laboを見学しました。



私の一言



(医) 健眠会大槻スリープクリニック
専務理事 大槻美恵子 会員

今月で佐藤美奈子会長年度が終わってしまいます。

例会欠席が多かった私はクラブ会報の会長あいさつ文を読むことがいつも楽しみでした。どんな事柄も丁寧に慈しみ深く表現されるので、会長の人となりかじみ出ていました。また先輩ロータリアンが脈々と繋いだ奉仕のあり方も幅広く伝えて下さいました。

会報29号では「子ども達や周りの若い方たちが、新たな一歩を踏み出そうとするその瞬間に、そっと寄り添いながら応援できる存在でありたい」と記されています。私は感銘を受けると共に、会長は何人にもどんな時にも、そんな存在ですよ!と心で呼び掛けました。

長い海外生活で培われた見聞の広さ、そして天然の茶目っ気、居るだけで周りをほっこりさせる宇宙一の才能でこれからも輝いてください。